

兵庫山岳

令和3年2月1日(月)

第644号 (毎月1日発行)

発行所 兵庫県山岳連盟
神戸市灘区王子町2丁目王子公園内
電話(078)940・1850 FAX(078)940・1851

定価1部 50円年間購読料1000円
兵庫県山岳連盟会員は会費に購読料を含む
©編集兼発行人 坂本伸哉

丹波山岳会

恒例の新春氷ノ山登山

―今年も厳冬・豪雪の中、日帰り2回実施―

第1回目(1月3日)

とおり今回も流れ尾ルートをとった。

年末からの猛烈寒波で氷ノ山の積雪は2mと予測するなかで、今回は総勢12名、会員以外の超初心者もお連れしての冬山登山で、スキルのな指導や危急時対応に思いを馳せながら3台の車に分乗り午前7時30分に丹波市を後にした。

養父市の国道9号線が相当な渋滞で回避として八木川の右岸道路を取るも、こちらも超渋滞。計画から1時間30分遅れで氷ノ山国際スキー場ロマンズリフト終点(標高940m)に午前11時30分に到着。ワカン装着しトレースが無い真っ白な雪上をラッセルで切り開く。先頭はトレランもこなす心肺機能が相当高い若者4人が担当したため、半分以上の者はラッセル無しとなった。

木根交じりの氷結した地道となり、クランポンとアックスが効果的であったが、事前にワカンのみと判断していたので皆さん歩きにくそうにしていた。

特に標高1190mと1240m付近に傾斜の強い氷結斜面があり、ここはロープを出して通過した。

東尾根との合流点からはいつものモンスターが迎えてくれたが、ホワイトアウトとなり、コンパス頼りに頂上小屋に午後2時に到着した。気温はマイナス10℃くらいで、テレマックススキーの方が4人おられ、少しかだけワザビ谷の話をしながら下山を開始した。

小屋から尾根の下降点までもホワイトアウトで、勘を頼りに進むと古千本の真ん中方向に間違っって進んでしまいい、途中で修正するありさまとなった。

第2回目(1月11日)

さらなる大寒波の後でラッセルがどうなる事かと心配しながら総勢6名、2台に分乗り午前7時30分に丹波市を(2面上段につづく)



1月3日流れ尾・東尾根合流点付近
今年もモンスターが発達

流れ尾は冬型の気圧配置の時には、標高1140mの尾根に乗ったとたんに北西の烈風に見舞われるのが常で、途中風を遮れるところがほとんどなく今回も強烈な風をまともに受けての登りとなった。

下山は標高1480mの、等高線が込み合ったやや西側の急斜面などを楽しみながら降りるのが常で、ワイワイ言いながら、ロープ補助も時々しながら午後4時に無事に下山



11日 第2回目登頂(頂上避難小屋前にて)

登山計画書は必ず提出しよう!!

お食事・各種ご宴会に

Gourmet Promenade
グルメプロムナード
SINCE 1997 IN KOBE

各線三宮駅すぐ神戸交通センタービル

10 日本各地から取寄せた旨い物と名酒に出会える
レストラン&BAR



TEL.078-331-1233

備長炭の本格炭火焼
厳選されたこだわりの素材をご堪能下さい。
炭火焼鳥 鳥料理



TEL.078-325-1235

9 鉄板焼きパフォーマンスを楽しみながら神戸牛を堪能してください!
ステーキハウス



TEL.078-392-2989

6 六甲山系を望みながら
畑の魅えるレストランで地元食材を堪能!!
地産地食ダイニング



TEL.078-332-2831

21 ていねいに抽出した珈琲が自慢のカフェテラス
喫茶



TEL.078-391-4057

(一面のつづき)
後にした。

スキー場の駐車場に消防・警察の車両が多数止まっているので聞くと、昨夜から遭難者がいて捜索しているとの事で、我々も流れ尾ルート沿いに関連があれば捜索に協力したいと申し出たが、親水公園、一の谷辺りの低い位置との予想で、尽力できそうになかった。リフト終点を午前10時15分に出発し、前回と同様のルート取りで頂上を目指した。標高1200m付近を登っている時、眼下に兵庫県警のヘリがホバリングを繰り返しながら親水公園付近と東尾根一の谷辺りを1時間くらい偵察されていました。

今回は風が無いのと、前日のトレースがあり、2時間15分で頂上小屋に到着した。気温はマイナス8℃ですが、風が弱いので外にいてもそれほど寒くもなく、前回と大違いだった。時々青空も現れ、久しぶりに清々しい厳冬水ノ山を見る事が出来ました。

水ノ山に始まり、日本国内や、世界各地の厳しい山々を経験して、また水ノ山に戻ってきて、往年を回顧しながら、地元この山を楽しむのもいいものですね。

(丹波山岳会 副会長
方山 文生)

技術・遭対委員会 ～今年度初の実技講習を実施～ 第3回ハイキングレスキュー講習会

今冬は12月以降寒波が到来し、大雪被害の地域も出てきました。近年は小雪でしたが、十分な警戒が必要です。さて、昨年12月3日に第3

回ハイキングレスキュー講習会を実施しました。テーマは、事故が起こった時の初動及びシート梱包と搬送方法の実習でした。

今年度の講習会、前2回は講義形式でしたが、今回はコロナウイルス対策のため、全員マスクの着用とお互いの距離に注意しながら、今年度、初めての実技講習を実施しました。

前回の低体温症の講義(本紙12月号に掲載)の中にあつたツェルトを使ったシート梱包を重点的に練習しました。

まず梱包に必要な各種ロープワークの復習を行い、その後シート梱包を行いました。講習の流れは以下の通りです。

①「座学」 事故発生時の対応フローチャート。セルフレスキューの心構え。負傷者を安全な場所へ移動させる方法



(二時避難)。ビバークの注意事項について。

②「実技」シート梱包と搬送講習によるデモンストラーション

通常の講習では負傷者役は実際の人で行うのだが、今回は感染対策のため、荷物を入れたザック等を使いダミーを作成、使用した。

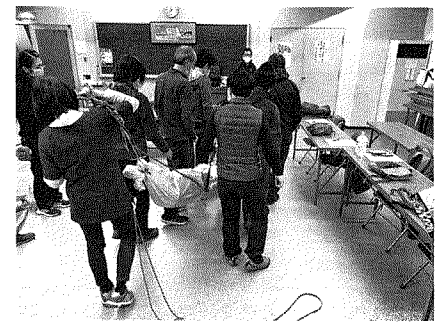
③各種ロープワークの確認と復習

クロープヒッチ、シートベント、インライン・フィギュアエイトノット等。普段ロープワークが縁遠いハイカーに

は、クロープヒッチ一つでも覚えることが困難です。最低限のロープワークは、いざという時にすぐ使えるように常日頃から練習しておく必要性を強く感じました。受講生の皆さんは、ロープワークの確認に多くの時間がかかりました。

④受講生によるシート梱包と搬送の実習

ツェルトを地面に広げ、その上に銀マットやザック等を敷き、地面からの断熱と保護を行う。その上に負傷者(今回はダミー)を寝かせ寝袋やレスキューシート等でくるみ保温する。頭、膝の下に枕状になるように衣類等を置く。ツェルトの左右を引っ張り上げ、たるみを取る。両サイドのできるだけ地面に近い位置で、胸、腰、膝下部分の左右、六ヶ所の内側にカラビナ等を入れ、アンカーポイントを作る。その外側からスリングをクロープヒッチで結ぶ。ツェルトの上部を再度引っ張り上げ、たるみが出ないように左



右合わせて巻き、各スリングを横方向にシートベントでしっかり梱包し、搬送中に負傷者が動かないようにする。足と頭部のシートを二つ折り、スリングで縛り、縦方向にもシートベントで固定する。搬送牽引の補強のための補助ロープをアンカーポイントに固定し梱包は完成。それを全員で持ち上げ搬送のシュミレーションを行った。

今回実技を実施してみて、レスキュー活動において、密にならずに、接触を伴わないということがいかに困難であるかが分かり、コロナ禍中では事故を起こさないことが最も重要であるということを実感しました。皆さん十分注意して活動して下さい。

(技術・遭対委員会
羽田 宗子)

便利で大変リーズナブルな多目的貸し会場
阪急王子公園駅からわずか徒歩3分



緑の中のミーティングルーム
王子サロン (神戸登山研修所)

神戸市灘区王子町2-2-1 王子公園内(競技場北側)
TEL (078)-940-1850 FAX (078)-940-1851 <http://www.hma.jp/>

神戸本店がセンタープラザにお引越し!



登山、アウトドアのことなら
好日山荘にご相談ください!

好日山荘 センタープラザ神戸本店
神戸市中央区三宮町1丁目9-1 センタープラザ3F
(TEL)078-335-8166 (営業時間)11:00~20:00

好日山荘

藤崎先生の地図教室

地形図とコンパス(10)

六甲山地の地質と植生

読図には地形だけでなく、地質や植生の知識が役に立ちます。今回は六甲山地の特色ある地質や植生を紹介します。六甲山地の地質の大半は花崗岩です。花崗岩を御影石ともいうのは、かつて良質の石材が住吉・御影を中心とする六甲南麓で採石され、主に御影から各地へ積み出されたからです。

れらが侵食されて流出すると、未風化の部分岩峰になり、菅屋ロックガーデンや須磨アルプスのような植生も乏しい地形(ニバッドランド)になるとされます。深層風化には断層も関係しており、同様のバッドランド地形が発達している蓬莱峡などは直線状で、断層(構造線)に沿っていることが地形図から読み取れます。

ところで、花崗岩は深くまで風化(ニ深層風化)し、真砂となる傾向があります。この植生は乏しいのに深い谷は発

一方、ロックガーデン北の東お多福山や、西の金鳥山は古い地層(古生層)からなり、植生は乏しいのに深い谷は発

達せず、なだらかな山谷で対照的です。

このように山の地形は地質や植生と関係が深いのですが、歴史も大きく関係します。

たとえば金鳥山付近は、村人が薪などを採取する入会の山で、そのため樹木が少なかったのです。

神社の周辺は鎮守の森などと呼ばれ、本来の植生(照葉樹林)が残っているとされますが、実際は肥料や燃料(新

用の樹木が多く、植生は貧弱だったようです。

例えば垂水の転法輪寺の西の山は、現在はうっそうとした照葉樹林ですが、明治期の地形図では、図のように樹木のない草山でした。

大山寺も江戸時代の案内絵図を見ると、周辺は松林で、照葉樹林ではありませんでした。

(兵庫県山岳連盟 理事 藤崎 和生)

2020年 王子カップ ボルダリングコンペ実施報告

コロナ感染者数増加の第二波が落ちてきた頃のこと。私が勝手に現場監督と呼んでいるスタッフ(ボルダリング部屋でマンスリー課題作成等

をするボランティアスタッフ)Mさんと、SNSでボルダリング部屋のことにやってやり取りをしていた時に、「一度、マンスリーで密にならない自己申告制のコンペイベントをやってみてください。」と、持ちかけました。その時は、それについて特に反応もなく、やはりコンペは厳しいかなと諦めていたその翌日、Mさんが、「考えてみた」とコンペ案のメ

モを送ってくれました。反応が薄かったと感じたのは、話をもちかけたその時から思案してくれていたからでした。すぐに企画をたてて運営委員会・理事会で承認を頂き、準備に入りました。コンペに参加していただく対象は研修所に通ってくれているお客さん達。本コンペの目的を、「コロナ禍で利用制限の多い中

でも来ていただいている利用者の皆さんへの御礼」と設定しました。

まだ利用制限は継続中ですが、2週間の期限・自己採点形式にすれば、施設内利用人数制限内でイベントは実施可能です。

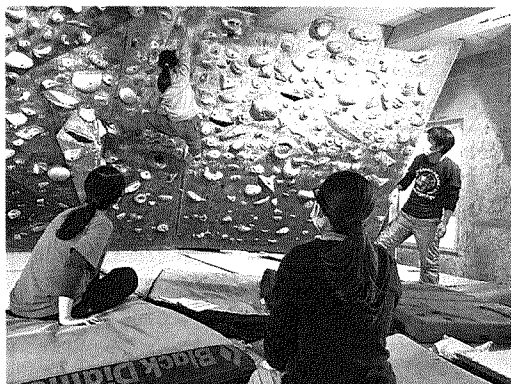
格安の参加費、カテゴリー分け、強い人だけでなく、参加すればプレゼントがもらえる抽選会等々、制限はあっても誰でも参加しやすく楽しめるように設定しました。

何より大変だったのが課題作成でした。通常のマンスリーは15課題ですが、コンペということで5つ課題を加えました。この20課題から3カテゴリーの順位をつけるコンペ課題を作成すること、ジュニアのためのリーチの考慮、また当施設にいらっしゃるお客さんに多い苦手なムーヴを練習してもらおう等を考慮して、スタッフは課題を作成しては

試験する、を何度も繰り返しました。

そして11月17日、コンペ開始。初日の参加者は2名。順位が付かないほど参加者が少なかつたらどうしよう...と、不安しかないスタートでした。

その後、徐々に参加者数は増えていき、最終的に26名(ジュニア5名、初級クラス11名、中上級10名)の方にいただきました。



家族でコンペに参加。あと一手!

中には遠方の方にもご参加いただきました。私の不安は杞(4面につづく)

あなたの山岳保険は、大丈夫ですか?

必要な保証は検索・救助費用ではありません

日山協山岳共済会

電話:03-5958-3396 FAX:03-5958-3397 月~金 10:00~17:00(祝日除く)

http://www.sangakukyuousai.jp



美しい自然、大切な自然を子孫に伝えよう

(3面のつづき)

憂に終わりました。無事にコンペは終了し、全完登者1名、表彰者は4名となりました。更に「課題が楽しかった」「または是非開催してほしい」という感想をいくつもいただき、喜んでいただけたようで私たちも大変嬉しく思います。

結果を見ても、課題完登数が分散していたことから、コンペ課題としても良いものが出てきたと思います。

最後になりましたが本イベントは、ご参加いただいた皆様、課題作成だけでなく様々な形で協力してくれたスタッフ、発案に対して柔軟にご協力・ご対応してくださった理事の皆様、そして六甲テレコム株式会社様にご協賛していただいたことにより成り立せたことができました。皆様

のご厚意に心より感謝申し上げます。

(施設運営委員長

梅田 晴子)

自然と歴史山歩 晩秋の日笠山を縦走 自然保護委員会

◇実施日 11月14日(土)

◇集合 9時30分

◇解散 14時40分

◇参加者 JR曾根駅 8名

◇ルート 山陽電鉄曾根駅→曾根天満宮→日笠山→北山(夫婦岩)→馬坂峠→牛谷→一本松山三角点→見晴台→牛谷→JR曾根駅

春に中止となったコースを、秋に振り替えて実施した。

12月2日に公開されたボルダリングコンペのリザルト(この他に各カテゴリーでお楽しみ抽選会もあり、参加者全員に賞がありました)

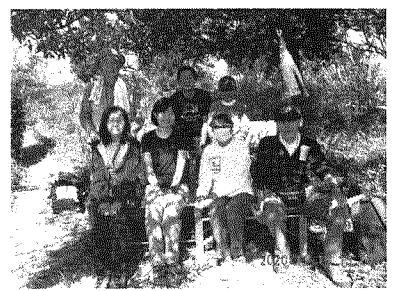
Table with 6 columns: 総合順位, 参加者No., ニックネーム, 得点, 賞品. Lists participants and their scores/prizes.



日笠山のノジギク

等々を愛でな

山陽電鉄曾根駅を降りると北へ曾根天満宮への参道が続いている。立派な神社へお参りし、今回の山行の安全祈願とそれぞれの自己紹介をして山道へと向かう。天川を渡り緩やかな坂道を登っていくと水道局の配水池があり、回り込むとノジギク園が見えてきた。ここ大塩町のノジギクは故牧野富太郎氏が大正14年に発見し、一時は日本一の群落地だったらしいが、年々その数は減っており、現在は準絶滅危惧種に指定されている。地元のボランティアによる保全活動によって整備されたノジギクの花壇が丁度見頃を迎えており、各自写真撮影タイムとなった。また4m近い背丈の皇帝ヒマワリも植えられており、青空に黄色が映えて美しかった。少し進んだ公園の中に四等三角点がある。標高62m、日笠山の山頂だ。ここはノジギク



一本松山見晴台での集合写真

クの他にボタンザクラの名所としても知られていて、春にはお花見に最適だろう。竹林の縦走路を進むと夫婦岩が現れる。笹に覆われていたがその向こうに高砂の町が見渡せた。そこから下りにさしかかり、山陽ハイキングの方々とすれ違う。かなりの参加者だ。馬坂峠に出ると段々畑に再びノジギクが咲き誇り、所々キバナノジギクも見られた。明るく開放的なノジギク園で、先の日笠山ノジギク園とはまた違って緑に囲まれ、自然と調和してとても良かった。山道に戻りコバノツナミヤノコンギク、ホトトギス等を愛でな

から大塩山城跡を過ぎる。しばらく休憩のあと牛谷を経て一本松山の見晴台へ。標高136m。春にはコバノミツバツツジが見事だろう。南向きの山頂は展望がよく、遠く瀬戸内の島々まで見渡せた。キラキラ光る海を眺めながら昼食。記念撮影の後、牛谷を経てJR曾根駅へ向かう。今回の山々は標高こそ低いが思いのほか植生が豊かだった。来年度はどんな山へ行きたいか、何の花を見たいかと話しながら歩く。その頃にはコロナ禍も去り、参加の方々も増え、賑やかに山を楽しめるよう願っている。(自然保護委員 須川 幸枝)

北摂の大岩岳で読図練習 3月の自然と歴史山歩

- ▽日程 3月13日(土)
▽集合 JR道場駅 9時
▽コース JR道場駅→不動岩→千刈ダム→不動岩→大岩岳→千刈ダム→不動岩→JR道場駅で解散(約8km 健脚向き)
▽募集人数 最大20名
▽参加費 会員200円 一般400円

mont-bell アウトドア用品は、お近くのモンベルストアへ! www.montbell.jp

山と溪谷2021年2月号・山と溪谷社。登山月報No.621(公社法) 日本山岳・スポーツクライミング協会。雪1月号・神戸市消防局。レッドベレーズNo.437・レッドベレーズ。木鶏2月号・好山好会。神戸ヒヨコ登山会会報1月号・神戸ヒヨコ登山会。兵庫労山No.483・兵庫県勤労者山岳連盟。愛知県連ニユース439号・愛知県山岳連盟。創立70周年記念誌・山口県山岳・スポーツクライミング連盟。クライマーズNo.18・(株)ソル・メディア。